

ふれあい

2020.1
No.221

発行：ふれあい編集委員会 〒220-0011 横浜市西区高島 2-6-32 善仁会グループ TEL:045(453)6772 www.zenjinkai-group.jp/zenjinkai



心エコー巡回サポート (心臓超音波検査) への取り組み



善仁会グループからの
各種情報はこちらから
ご確認ください。



心のかよう医療・福祉をお客さまへ
善仁会グループ

年頭にあたって



明けましておめでとうございます。

令和最初の元日を迎え、今年も皆さまと穏やかな新年を迎えられましたこと、心より感謝申し上げます。

昭和49年4月の丸子クリニックから始まった善仁会グループは、本年度46年目を迎えます。私たちは、新たな時代にあっても変わることなく「思いやりの心」を常に胸に抱き、「心のかよう医療・福祉」の実現に努めてまいり所存でございます。

本年は「うるう年」にして、干支は巡っての一番目、子年です。閏(うるう)の読みは「潤う」に由来するとされ、また「子」は「子孫繁栄」「継承」などに加えてコツコツと堅実に働くという意味も持つとされています。

私たちはこれまで、諸先輩方、日々お世話になっている関係各所の皆さま、そして何より一人ひとりの患者さま、ご利用者さまと共に医療・福祉の道を着実に歩んでまいりました。私たちはその質のさらなる向上はもとより、グループ一丸となって、これからもお客さまを多面的に支えられるよう努め、より潤沢な「心の満足」を得ていただけるよう尽くしてまいります。

皆さまにとって本年が心安らかな一年でありますよう祈念いたしますとともに、今年も変わらぬご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

善仁会グループ

会長 千葉 哲男



特集

心エコー巡回サポートへの取り組み

善仁会グループでは、透析患者さまに向けた心エコー（心臓超音波検査）の巡回サポートに取り組んでいます。患者さまの心疾患の早期発見、そして安心につなげるべく、各施設を臨床検査技師が巡回させていただいております。本号では、その取り組みについて紹介させていただきます。

「透析患者さま巡回心エコーサポートセンター」の概要



透析患者さま巡回心エコー・
心電図サポートセンター
課長代行 臨床工学技士
須藤 隆幸

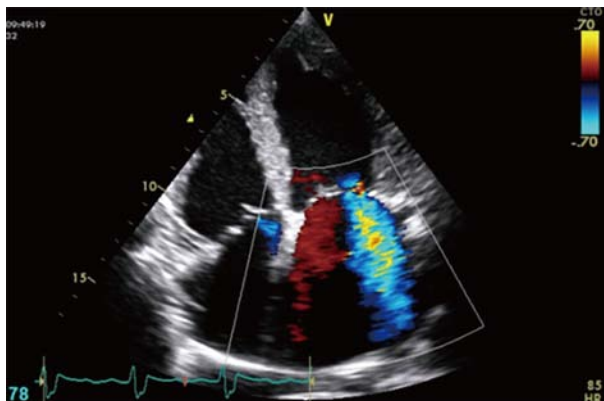
「透析患者さま巡回心エコーサポートセンター」は、年間スケジュールに沿って善仁会グループの透析施設を訪問し、心エコーを行っている部署です。

透析患者さまは、透析導入時点で心疾患のリスクが高いことが知られています。ゆえに定期的な循環器の検査が必要と考えられますが、ADL（日常生活動作）の低下や高齢化などで循環器科の受診が困難な患者さまも見受けられます。「それならば、臨床検査技師が透析施設に伺い、心エコーを実施できないものか」と考え、2012年8月より神奈川エリアで活動を開始いたしました。その後、2014年5月から東京エリアにも業務を拡

大しております。

現在は、神奈川エリアで4名、東京エリアで2名の臨床検査技師が巡回を行っております。また、超音波診断装置の移動には、各施設のケアドライバーの協力を仰いでおります。横浜第一病院と吉祥寺あさひ病院における心エコーに加え、神奈川・東京エリア各々2系統の巡回ルートで、各施設にて心エコーを実施しています。超音波診断装置の移動上の理由から、透析施設の巡回頻度は各系列で週1施設を基本とさせていただいております。

現状では、善仁会グループすべての透析患者さまに対し、年1回の心エコーを行うまでには至っていませんが、前年度の依頼実績や、



僧帽弁逆流



大動脈弁逆流

次年度の依頼件数に応じ、極力、施設の希望に沿うようスケジュールを立てて巡回しております。

心エコーは非侵襲的（体に負担をかけない）検査で、循環血流量の評価、収縮性なら

びに拡張性心機能障害の診断、弁膜症、肺高血圧、心膜、心筋疾患の評価に有用です。一回の検査時間は20～30分程度です。心エコーの正確な画像を撮影するためには、左側臥位（患者さまが左側面を下にする姿勢）や、臨床検査技師が画像を確認しやすい薄暗い環境が重要であるため、それらのためのご協力をお願いする場合もございます。

心エコーの実績は、臨床検査技師の増員や施設からの依頼増加に伴い、2012年の455件から2018年の5,335件まで増加しております（図1）。

2018年度の実施件数中、善仁会グループの透析患者さま4,682名を対象に追跡調査を行った結果、383名が循環器受診を勧められており、そのうち215名の方が受診されました。主な診断結果は虚血性心疾患（36%）・弁膜症（21%）・心不全（12%）・不整脈（10%）などでした（図2）。心エコーにより、疾患の早期発見、延命に至った例もございます。

今後も、私たちは患者さまの心疾患の早期発見・治療、そして何より皆さまの安心・快適な透析生活に寄与できるよう取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

図1 心エコー実施件数

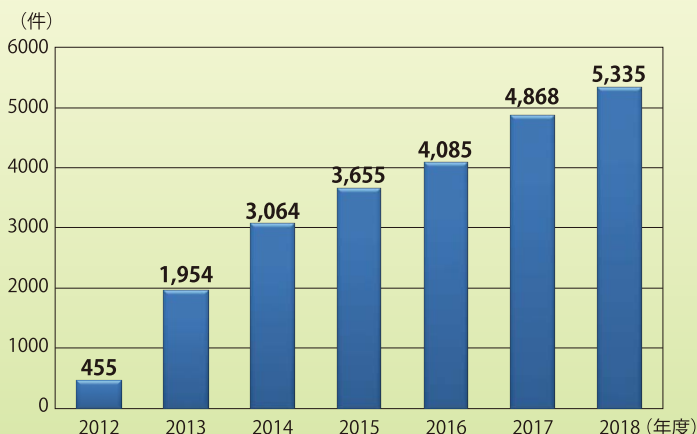
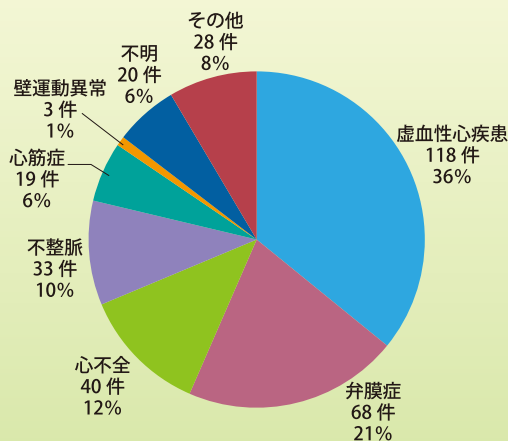


図2 診断結果



巡回心エコーによるメリットについて



緑園都市クリニック 院長 久世 学

心エコー検査のおもな目的

- ① 自覚症状はないが、スクリーニング(特定の病気を抽出する検査)として
- ② 自覚症状(動悸・息切れなど)や他覚症状(心電図異常・心雑音など)があり、精密検査として
- ③ 以前の心エコーで何らかの異常が見つかり、経過観察として
- ④ 心臓手術の術前検査として
- ⑤ 心臓手術後のフォローアップとして

心エコーのメリット

- ① 特別な事前準備が不要、比較的短時間(20～30分)
- ② 痛くない、放射線被曝なし、薬剤投与なし、だから何回でも検査できる
- ③ リアルタイムで心臓の壁・弁の形態、動きを見ることができる
- ④ 血液の流れ具合、逆流の有無、心嚢液貯留の有無がわかる
- ⑤ 血液ポンプとしての、心臓全体の動きがわかる

透析患者さまの多くには内シャントがあり、それが心臓の負担になっています。また、「透析間の水分貯留⇔除水」の繰り返し、「高血圧⇔低血圧」の繰り返し、貧血、動脈硬化など、いずれもが心臓には過酷な状況です。ですから、自覚症状がなくても年に一回を目安に、心エコーを受けていただくことをお勧めいたします。

特に善仁会グループでは、各クリニックへエコー装置を移送し、専門の検査技師が検査する「巡回心エコー」を取り入れており、高齢の患者さま、要介護の患者さまのご要望にお応えしています。

私が勤務しているクリニックでの経験です。特に自覚症状のなかった患者さま(心電図異常はありました)に、巡回心エコーを初めて受けていただいたところ、重度の弁膜症が判明。すぐに心臓血管外科で手術となり、事なきを得られたことがありました。現在もお元気です。

循環器内科などで定期的に心エコーを受けているのであれば、ぜひ一度クリニックのスタッフに「巡回心エコーを受けたい」とおっしゃってください。各クリニックと専門の検査技師チームで、できるだけ早く検査の予定を組ませていただきます。

透析患者さま巡回心エコー・心電図サポートセンター



神奈川エリア

私たちは、各々のクリニックに伺い、患者さまの心臓超音波検査を行っています。その時、「これで何がわかるの?」「何を見てるの?」とよく聞かれます。この検査は、薄暗い部屋で体位を変えたり、呼吸を調整したり、検査時間も20分～30分を要するため「またやるの?」とお感じになられるのかもしれませんが。

心臓には4つの部屋があり、血液が流れています。そして、心臓は収縮と拡張により、全身に血液を送り出しています。それぞれの部屋には、その血液が逆に流れないように4つの弁があります。私たちは、その弁の

臨床検査技師

伊澤 万友美



閉まり具合が悪くなっていないか(閉鎖不全症)、弁が固くなり開きにくくなっていないか(狭窄症)、収縮や拡張がどの程度なのかなど様々な方向から心臓の断面が動いている画像をみて観察しています。

患者さまは、なかなか心臓に目がいかないかもしれませんが、少しでも心臓に興味をもっていただけたらと思います。



神奈川エリア

心臓は非常に重要な臓器で、その病気は命にかかわります。私たち臨床検査技師は、心臓超音波検査(心エコー)により透析患者さまの心臓の健康状態をチェックし、透析合併症の予防や病気の早期発見・早期治療の手助けをしています。

私たちは、患者さまが透析をしているクリニックに伺い、検査を行います。患者さまからは「普段のクリニックで検査をしてくれて助かる」との嬉しい声もいただき、励みになります。心エコーは心電図やレントゲンとは違い、検査時間も長く、患者さまから「まだ終わらない

臨床検査技師

津久井 碧



のか、何か悪いところがあるのではないかなどと不安の声をいただくこともあります。そのようなときは、安心してもらえるよう患者さま一人ひとりに合ったお声掛けや、きちんとした説明を行い、患者さまに寄り添った対応を心がけています。

患者さまが安心できる、正確で見落としのない検査が行えるようこれからも日々努めていきたいと思っています。

巡回心エコースタッフから



東京エリア

透析患者さまの死亡原因を見てみると、全体の約1/3が心不全や心筋梗塞などの心臓病であり、心電図や心エコーなど、心臓の検査を定期的に行うことは非常に大切です。心エコーでは心臓の状態をリアルタイムに観察することができるため、心電図やレントゲンなど他の検査結果と合わせて現在の状態を把握することができます。なかには、症状がなく心筋梗塞を発症している場合や、心不全徴候がみられる場合、透析中の血圧低下が実は心臓に原因がある場合などもあり、異常を見つけた際はすぐ

臨床検査技師
内田 彩恵子



に医師に報告するようにしています。後日、患者さまやクリニックのスタッフさんから感謝の言葉を頂いた時にはこの検査の大切さを改めて実感します。

心電図などに比べると少し時間がかかってしまう検査なので、今後なるべく患者さまの負担にならないよう、スムーズに検査を行うよう心がけていきたいと思っています。



東京エリア

心エコーを巡回で行うというのは、他ではあまりない運用方法だと思います。検査環境の整備や機械の運用に関してなど、クリニックの皆さまに協力していただきながら検査を行っている状況です。

透析患者さまは心臓への負担が大きく、定期的な心臓の検査は非常に大切だと思います。

特に症状がなかったり、今まで心臓に関して指摘がなかった方でも、心エコーをして初めて見つかった、ということが何回もありました。そういった隠れた疾患を見つけるためにも定期的に心エコーを行うということはとても

臨床検査技師
小倉 唯



大切なことなのだと思います。

患者さまから「わざわざ病院まで行かなくてもクリニックで検査が受けられるのは助かる」など、有り難いお言葉をいただくこともあり、そういった面でも巡回で心エコーをすることの意義を実感しています。

当サポートセンターの規模的に、未だ皆さまのご要望にできていない現状ではありますが、可能な限り応えていけるよう頑張っていきたいと思っています。

第41回 善仁会研究報告会

第41回目の開催を迎えた善仁会研究報告会が、11月24日(日)、そごう横浜・新都市ホールにて開催されました。埼玉医科大学病院 副院長／埼玉医科大学 総合診療内科 中元秀友教授による特別講演(演題：透析医療の現在・過去・未来 ～透析療法はどう変わるのか～)をはじめ、善仁会グループの腎部門・健診部門、老人医



埼玉医科大学病院 副院長
埼玉医科大学 総合診療内科
中元 秀友 教授



大会長 大山 邦雄
(横浜第一病院 院長)

療福祉部門のスタッフから、ポスター発表2件を含む合計22演題が発表されました。

研究報告会は、グループ全体の各部門、そして職種間の垣根を越えて各施設・各職種の課題などについて深く知ることができるとともに、日頃の研究の成果や観点を発表することができる貴重な機会です。様々な職種が情報共有を行うチーム医療、そしてグループ全体の医療をより深いレベルで共有し、高めていく意味でも、非常に意義のある会です。総勢約700名が聴講・発表に参加し、会場からは発表者への質疑なども活発に行われていました。



約700名の参加者が、各部門・各職種からの発表に耳を傾けました

「お写真」 「透析川柳」 募集!

「ふれあい」では皆さまからのお写真のご投稿、またサラリーマン川柳ならぬ「透析川柳」のご投稿をお待ちしています。ふるってご応募ください!

- 投稿送付先：〒220-0011 横浜市西区高島2-6-32 6階 善仁会グループ本部 広報室あて
- ※または各施設スタッフに「ふれあい投稿」としてお渡しください
- ※ご投稿いただいた作品は返却いたしません。ご了承ください



手で受けた 雪が逃げたと 泣く息子 (大坪)

横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター

バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターとして、充実した医療技術・設備のもと、迅速な診断、長期に安定したバスキュラーアクセスの作製、維持に取り組んでいます。



診療時間 9:00～15:30

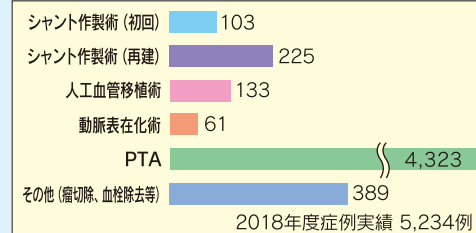
休診日 日曜・年末年始

予約制 バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっております。ご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

センター長 笹川 成



●横浜第一病院バスキュラーアクセス関連手術実績



専用電話：045-453-6709 FAX：045-453-6701

東京・吉祥寺あさひ病院でのバスキュラーアクセスのご相談については、
【電話：0422-22-1120 / FAX：0422-22-1080】にて承っております。